

令和6年度 学校評価報告書（後期）

鬼北町立三島小学校

【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

領域	重点目標	評価指標	評定	考察（◇）及び改善方策（◆）	評価資料	評定	評価指数	4	3	2	1		
I 明るく	5：S16C9B5：B5：016	①子供たちは、地域のことを知ったり、地域の方と交流したりできている。	A	◇学校行事や戸祇の子学級等、多くの交流活動が実施できた。児童は、活動のねらいを持って主体的に取り組み、学校生活では経験できないようなことができて良かった。学習発表会や日々のホームページ、学校・学級通信等で積極的に発信したため、保護者の評価が上がっている。 ◆引き続き、活動のねらいを明確にして、児童が主体的に取り組めるようにする。 ◆今後も戸祇の子学級や公民館行事に積極的に参加し、地域のことを学習したり、地域の方との交流を図ったりすることで、ふるさと三島を知り、誇りに思う児童を育てていきたい。	地域住民	A	89.3%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%		
		②子供たちは、気持ちのよい挨拶ができている。	A	◇地域の方に気持ちの良い先取り挨拶ができている。臨機応変な挨拶ができるようになってきたが、校内での来校者に対しては十分とは言えない。また、目を合わさない児童や語尾を伸ばす言い方が気になる。気持ちがこもっていない感じがする。 ◆朝の挨拶をはじめ、目を合わせての挨拶、気持ちのこもった挨拶、臨機応変な挨拶等の観点からも、気持ちの良い挨拶ができている児童や登校班を積極的に称揚していくようにする。 ◆子供たちの元気で気持ちの良い挨拶で、保護者・地域の方に笑顔と元気をプレゼントできるよう、引き続き子供たちに呼び掛けていく。	地域住民	A	93.8%	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%		
		③子供たちは、正しい言葉遣いをしている。	B	◇教職員・保護者の評価は上がり、地域・児童の評価が下がっている。校内では、基本的に正しい言葉遣いをしている児童が多く、みしま会議で言葉遣いについて話し合い、目標を持ったことが良かった。 ◆引き続き、気になる言葉遣いがあれば、その都度声掛けをしたり指導をしたりしていく。 ◆返事や敬語等についても正しく使えるよう、習慣付けるようにする。	地域住民	B	75.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%		
	6：016	コミュニケーション力	④子供たちは、相手の方を向いて分ちろうとして話を聞き、内容を聞き取る力が付いてきている。	A	◇教職員の評価がCからAへ、全体でもA評定となった。本校の研究主題「聞いて考えを深め、自分らしく伝え合おうとする児童の育成」の成果であると考えられる。しかし、まだ十分とは言えない。 ◆「聞き方名人」を活用して、継続的に指導を行うとともに、友達の発表に心を向けて聞けるように、態度面での指導も行っていく。	教職員	A	82.1%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	
			⑤子供たちは、人に分かりやすく話す力が付いてきている。	B	◇児童の評価は上がっているが、教師の評価は下がっている。全校の前で発表する機会を意図的に増やしたため、児童にとっては自信につながったと思われる。特に6年生の感想発表やお礼の挨拶が立派で、お手本となっていた。しかし、教師側からすると、発表内容の簡潔さや深まりに課題を感じている。 ◆引き続き、自分の考えを発表する機会を設け、学年に応じた話す力の育成を目指す。また、授業や学校生活の中で語彙を増やす取組も行っていく。	教職員	C	64.3%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	
		共に学ぶ力	⑥子供たちは、学習に意欲的に取り組んでいる。	B	◇児童の評価がAに上がっており、意欲的に取り組む自覚が見られた。今後も、児童が意欲的に取り組もうとする授業実践を心掛けていきたい。 ◆引き続き、一人一台タブレット端末を使って、自分に合ったアプリ等を活用し、学習を進めるよう促す。 ◆児童が意欲的に学習に取り組めるようにするための授業改善を積極的に行うなど、教職員研修に努める。	教職員	B	78.6%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	
			⑦子供たちは、本を読み、読書の習慣が付いてきた。	B	◇評定がBに上がった。図書委員会を中心に、全校が一斉に取り組む読書活動や本の紹介の成果が少しずつ現れていると感じる。しかし、物語のような文の多い本をあまり借りない児童が多い。 ◆全校が一斉に取り組む読書活動や図書委員会を中心とした紹介活動を継続して行い、児童の関心を高めるようにする。 ◆読み聞かせによって、読書への関心の高まりが見られた。読み聞かせボランティアの方の協力を得ながら、引き続き読書に親しむ機会を設けていく。	教職員	B	75.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
			⑧子供たちは、タブレットや辞書を使う力が付いてきた。	A	◇評価指数が9割を超えている。児童は、活動に応じてタブレットを活用したり、積極的に辞書を使って調べたりすることができている。 ◆児童がタブレットを効果的に活用するために、引き続き教職員のICT研修を充実させていく。 ◆国語科の時間を中心に、辞書を活用していく。	教職員	A	96.4%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	
			豊かな人間性	⑨子供たちは、友達を思いやり、大切にしている。	A	◇教職員の評価がAに上がった。相手の気持ちを考えた言動が見られている。また、高学年が下の学年を大事にしていく三島の伝統が引き継がれていると感じる。 ◆自分の言動を振り返る、友達の言動に対して感謝の気持ちを伝える、みしま会議で話し合った学級目標を反省する、といった時間を終わりの会などに設け、相手を思いやることの大切さを実感させていきたい。	地域住民	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
				⑩子供たちは、困ったときは誰かに相談する雰囲気できている。	A	◇今年度は、定期的教育相談を学期に1回、また、SSW来校の日の学級担任による教育相談など、教育相談の機会を増やした。今後も困ったときに児童の方から気軽に相談できるような雰囲気づくり、そして、児童との信頼関係づくりに努めていきたい。 ◆普段から児童の様子を観察し、いつもと違うところがあれば、積極的に声を掛けていくようにする。また、児童が何でも気軽に相談できる雰囲気づくりに努める。	教職員	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%

III 強く	めあてをもった生活	⑪子供たちは、自分で手洗いなどに気を付けたり、事故なく安全に生活しようとしたりする意識が身に付いてきている。	A	83.8%	◇児童は、少しずつ手洗いへの意識が下がってきているようだ。特に、寒くなってから石けんの減りが悪くなった。また、廊下を走っている低学年児童が多い。 ◆給食前の手洗いは習慣付いているが、感染症対策のためにも、トイレ後と外から帰った後の手洗いを声掛けしていく。 ◆廊下の歩き方やスペースでの過ごし方など、全教職員で見守り、適切に指導をしていく。	教職員	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		⑫子供たちは、朝ごはんを必ず摂る習慣が付き、体を動かすことを楽しいと感じている	A	87.8%	◇朝食については、時々食べていない児童が見受けられた。休み時間に、全校で元気よく外で遊んだり、ITスタジアムに向けた練習に意欲的に取り組んだりしており、ほとんどの児童が体を動かすことを楽しんでいると思われる。 ◆朝食の大切さについて繰り返し伝え、家庭との連携を図る。また、全校遊びを通して、引き続き体を動かす楽しさを味わわせていく。	教職員	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		⑬子供たちは、最後まで根気強く努力する姿勢が身に付いてきている。	A	87.3%	◇教職員・保護者・児童すべてにおいて評価指数が上がっている。陸上競技大会や学習発表会、持久走大会など、粘り強く努力する姿が見られた。また、日々の活動の中でも、目標に向かってみんなで乗り越えようとする雰囲気が出てきた。しかし、苦手なことややりたくないことから逃げようとする児童も見られた。 ◆お互いの頑張りを認め合いながら、自分を客観的に見詰めて反省する機会を設ける必要がある。	教職員	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		⑭子供たちは、目標を立てて取り組もうとしている。	A	82.9%	◇地域住民の評定は下がったが、教職員と保護者の評定がAに上がった。生活目標や各種行事や大会等で、自分の目標に向けて努力した成果が少しずつ現れてきている。 ◆引き続き、自分が立てた目標を視覚的に確認できるような工夫したり、振り返りの時間を設けたりして、目標に対して真摯に取り組めるようにしていく。	保護者	A	87.0%	48.1%	51.9%	0.0%	0.0%
IV 地域に根差した教育	教職員の資質・能力の向上	⑮立てた目標を意識して取り組み、目標達成に努力した。	B	75.0%	◇評定はBのままだが、指数は向上している。目標を忘れてしまうことがあるため、目標チャレンジシートなど、見えるところに置いて、常に意識していく必要がある。 ◆学力向上や学校・学級運営など、目標を意識できるよう工夫し、定期的に振り返ったり、研修会で確認したりしていく。	教職員	B	75.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		⑯子供たちの様子を観察し、適切に教育相談を行った。	A	92.9%	◇前期はCであったが、A評価に上がった。日頃から児童とコミュニケーションを取り、いつもと違うときは話し掛けるように意識し、意図的に教育相談を実施したりした成果と思われる。しかし、うまく機会を捉えられないこともあった。 ◆教育相談の計画を早めに立てたり、SSWとの連携を図ったりする。今後も日頃から児童の様子を把握し、異変があれば早期に対応できるように心掛けていきたい。	教職員	A	92.9%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
		⑰校務分掌以外にも、時と場に応じて助け合いができた。	A	85.7%	◇Aへと評価が上がった。一人で抱え込まず、みんなで助け合う雰囲気醸成されてきている。 ◆引き続き、何でも相談できる職場、Helpと言える職場、風通しが良く支え合う職場づくりに努めていく。	教職員	A	85.7%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
		⑱連絡・報告・相談を的確に行い、勤務規律を遵守した。	A	96.4%	◇引き続き、高い評価を維持できている。悩むこと、困ったこと、気付いたことがあれば、すぐに管理職や学級担任に伝える習慣が付いていると言える。 ◆連絡・報告・相談を密に行い、風通しの良い職場づくりを目指しながら、勤務規律や提出期限等については指摘し合い、信頼される学校づくりを目指す。	教職員	A	96.4%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
		⑲学校は、子供たちが安全・安心に生活ができる環境づくりをしている。	A	92.4%	◇月に1度、安全点検を実施し、危険箇所がないか判断しており、高い評価を得ている。しかし、学校内外の植物の管理がおろそかになっていたことがあった。 ◆安全点検だけでなく、学校内外の環境が整っているか、危険な箇所がないかを、子供目線で確認する必要がある。保護者や地域の方からの情報を大切にして、児童の指導にも役立てていく。	地域住民	A	90.6%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
	信頼される学校	⑳ホームページやケーブルテレビ、各種通信・配付文書、家庭訪問、懇談会、電話連絡等による積極的な情報提供、情報交換を行った。	A	94.5%	◇全項目で評価が上がっている。ホームページや学校通信だけでなく、学級通信や人権・同和教育だより等で、積極的な情報提供につながった。内容については今後も工夫していきたい。 ◆家庭への連絡や学級通信では、事務的な内容だけでなく、児童の様子なども伝えるようにして、更なる家庭との連携を図ってきたい。 ◆今後もケーブルテレビ、ホームページ、学校・学級通信などの各種通信等を活用して、児童の活躍や学校行事等の様子、そして地域の方との交流の様子等を継続的に発信していきたい。	地域住民	A	96.9%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
		㉑地域に根ざした教育活動やPTA活動に取り組み、保護者や地域・関係機関と積極的に連携した。	A	93.8%	◇全項目で評価が上がっている。保護者や地域と積極的に交流を深め、良好な関係が築けている。 ◆今後も積極的にPTA活動や地域の行事に参加し、より良い関係づくり、信頼される学校づくりに努める。	教職員	A	89.3%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
						保護者	A	97.2%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
						地域住民	A	96.9%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
						保護者	A	95.4%	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%

学校運営協議会委員の所見

○全体的に向上しており、完璧に近い。完璧にならないくらいの方がいいと思う。
○教育計画の重点目標に関する項目は、数字が上がるよう取り組んでほしい。
○地域との連携については、児童が行事にたくさん参加している。
○挨拶が大変良い。先取り挨拶ができ、声も大きくなっている。継続して指導をしてほしい。
○読書の項目は、毎回伸び悩んでいる。改善策を見付け、工夫しながら頑張ってもらいたい。
○園児でも絵本に触れる機会が減っている。いい子でいるからタブレットを与える保護者が多い。保護者の読書離れを感じるため、保護者から読書の良さを知ってもらいたい。
○「物語をあまり借りない」とあるが、物語を読む効果を教えてほしい。
○ICTを上手に生かして、どんどん取り組んでほしい。
○SSWによる教育相談など、適切にできている。内容によっては、民生委員や児童委員など関連機関と連携していくようにしてほしい。
○昼休みの様子を見ていると、体を動かすことが好きなことが分かる。ITスタジアムにも意欲的に取り組み、心と体の健康を積極的に育成している。来年度も取り組んでほしい。
○先生と児童の距離が良い感じである。少人数のため、個人のことが分かり、少しの変化に気付くことができる。小学校から中学校へ進学したときに、一人になってしまったり、相談できなかつたりする子がいる。心もしっかり見てあげてほしい。
○子供の目の高さにいぶきの枝が伸びていて危ない。

学校の対応

○地域との交流については、今後も公民館と連携しながら計画的に進め、児童が主体的に取り組めるようにしていく。
○挨拶はよくできているが、更に心のこもった挨拶や臨機応変な挨拶について指導を重ねていく。
○研究主題を意識したコミュニケーション能力の育成を図っていく。
○読書については、図書委員会を中心に、推進活動を工夫していく。また、読み聞かせボランティアの方の協力を得ながら、今後も読書に親しむ機会を設けていく。
○仲の良さが馴れ馴れしさにならないよう、また、下の学年を大事にしていきたいという思いやりが三島の伝統として続けられるようにする。
○ICT学習を効果的に進めていくために、教職員の研修を行う。
○定期的に教育相談を行ったり、一人一人に応じて声掛けを行ったりできた。今後も、自己肯定感を高められるような声掛けや、気軽に相談できる雰囲気づくりに取り組んでいく。
○手洗い、早寝、正しい廊下の歩き方の意義や大切さを理解させ、指導を行う。
○学年に応じた目当てを持たせて、根気強く努力する児童の育成に努める。
○安全点検では子供目線で確認し、保護者や地域の方からの情報を大切にしていきたい。
○積極的にPTA活動や地域行事に参加したり、ケーブルテレビやホームページ、そして、各種通信によって活動内容を発信したりして、信頼される学校づくりの継続・充実に努める。